

# パオちゃん's EYE

2024年10月1日 発行 No.91

## 河原の岩石の調べ方

岩石は山のがけなどに見られますが、手軽に観察するには河原に転がっているものが良いでしょう。岩石はマグマが冷えて固まってできた火成岩（花こう岩・流紋岩など約8種）、砂や泥などがたい積して固まってできたたい積岩（砂岩・泥岩など約7種）、それらが強い圧力や熱の影響などで変化してできた変成岩（ホルンフェルスや結晶片岩など約5種）に大きく分けられ、それらをあわせた20種程度が一般的なものです。岡山県にはそのほとんどが分布し、それらがたくさん流れてきている高梁川・旭川・吉井川の中流の河原は岩石の学習に都合のよい場所です。

河原で拾った石は数が多く、最初は一つ一つが違った種類のように見えますが、おおざっぱに似た色や模様ของกลุ่มに分けると意外と種類が少ないことに気づきます。そして、それぞれのグループごとの岩石の種類を図鑑などで調べます（下写真）。



河原からとってきたばかりの岩石。数が多いと種類がたくさんあるように見える。



似た色や模様ของกลุ่มに分ける。意外と種類が少ないことがわかる。



それぞれのグループの岩石の種類を図鑑などで調べる。

また、河原の岩石は表面が水の影響などで色が変わったり軟らかくなったりしていることもあり、金づちで割って、内部の特徴を観察することも必要です（右写真）。



こうして種類や特徴を調べた後で、それぞれの岩石がどのようにしてできたかを本などで調べてみましょう。しかし、河原の岩石はその上流の地域から流されてきたものなので産地ははっきりしません。したがって、専門家が河原の岩石を研究することはあまりありません。

なお、川は増水することなどもあり、危険には十分注意してください。

武智泰史(地学担当)

パオちゃんズアイ66に関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」  
は博物館ホームページでカラーで見られるよ！

